



2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金	
	第3四半期末	
19年12月期第3四半期	円	銭
18年12月期第3四半期		

3. 平成19年12月期の連結業績予想(平成19年1月1日 ~ 平成19年12月31日) 【参考】  
(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	1,050	(13.9)	40	(230.9)	40	(207.8)	22	(60.6)	2,642	01

(注) 通期業績予想につきましては、変更ありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う  
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におきましては、新設住宅着工戸数の急減(7月が前年同月比23%減、8月が同43%減、9月が同44%減)により住宅用資材販売事業の業績が少なからず影響を受けております。これは、2007年6月に耐震偽装の再発防止・安全性確保のため施行された改正建築基準法において確認申請に時間がかかるようになったためです。この影響は一時的であるとの見方もありますが、原油価格の上昇による住宅資材の高騰など先行きへの不透明感は払拭できない状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループはお客様に対し環境に優しい「完全外断熱工法による高气密、高断熱住宅」及び自然エネルギー利用型冷暖房システム(エネシフト)などの省エネ商品を提供してまいりました。

しかしながら、当第3四半期におきましては、売上高575百万円(前年同四半期比12.4%減)、経常損失21百万円(前年同四半期は経常利益15百万円)、四半期純損失は46百万円(前年同四半期は四半期純利益13百万円)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 〔住宅FC事業〕

住宅FC事業におきましては、売上高181百万円(前年同四半期比4.7%減)、営業利益45百万円(前年同四半期は49百万円)とほぼ前年並みとなりました。

#### 〔ウエブダイル外事業〕

ウエブダイル外事業におきましては、売上高30百万円(前年同四半期比100.7%増)、営業利益2百万円(前年同四半期は営業損失3百万円)となりました。

#### 〔住宅資材販売事業〕

住宅資材販売事業におきましては、売上高377百万円(前年同四半期比18.0%減)、営業損失5百万円(前年同四半期は営業利益39百万円)となりました。これは、建築基準法改正を引き金にした住宅着工戸数の減少、自然エネルギー利用型冷暖房システム(エネシフト)の開発費・人件費の増加及び住宅用火災警報器の調達遅延によるものです。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 財政状態の変動状況

資産の部は前連結会計年度末に比べ51百万円減少いたしました。これは主に住宅資材販売事業による売掛債権の85百万円の減少、たな卸資産31百万円の増加によるものです。負債の部は、前連結会計年度末に比べ2百万円の減少となりました。純資産の部は前連結会計年度末に比べ48百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少によるものです。以上により、当第3四半期の総資産は445百万円(前連結会計年度末に比べ51百万円減少)、負債の部合計160百万円(同2百万円の減少)、純資産の部合計は285(同48百万円の減少)となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期における現金及び現金同等物の期末残高は188百万円(前連結会計年度末188百万円)となりました。各キャッシュ・フローの状況は下記のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により資金は0百万円の減少となりました。これは主に税金等調整前純損失21百万円、売上債権の回収70百万円、たな卸資産の増加31百万円、法人税等の支払額16百万円があったことによるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により資金は3百万円の増加となりました。これは、短期貸付金の回収によるものです。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により資金は2百万円の減少となりました。これは、配当金の支払によるものです。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金の計上基準については、簡便的な手続きによっております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

## 5.(要約)四半期連結財務諸表

## (1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:千円、%)

科 目	前年同四半期 (平成18年12月 期第3四半期末)	当四半期 (平成19年12月 期第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年12月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>流動資産</b>					
1 現金及び預金	204,460	188,933			188,086
2 受取手形及び売掛金	196,889	71,208			156,965
3 たな卸資産	82,434	77,642			46,093
4 繰延税金資産	9,695	6,242			18,309
5 その他	27,308	24,401			22,545
貸倒引当金	11,640	10,950			13,560
流動資産合計	509,154	357,478	151,676	29.8	418,440
<b>固定資産</b>					
1 有形固定資産					
(1)建物及び構築物	4,817	4,817			4,817
(2)機械装置及び運搬具	20,709	20,709			20,709
(3)工具器具備品	16,745	16,745			16,745
減価償却累計額	27,808	30,888			28,860
有形固定資産合計	14,464	11,384	3,080	21.3	13,411
2 無形固定資産	5,198	3,829	1,368	26.3	4,914
3 投資その他の資産					
(1)敷金及び保証金	23,875	25,765			23,875
(2)破産更正債権等	45,991	85,138			69,663
(3)繰延税金資産	11,503	21,246			17,716
(4)その他	12,807	3,329			1,439
貸倒引当金	37,882	62,301			52,309
投資その他の資産合計	56,296	73,178	16,881	30.0	60,386
固定資産合計	75,959	88,392	12,432	16.4	78,712
資産合計	585,114	445,870	139,243	23.8	497,152

(単位:千円、%)

科 目	前年同四半期 (平成18年12月 期第3四半期末)	当四半期 (平成19年12月 期第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年12月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(負債の部)</b>					
<b>流動負債</b>					
1 買掛金	167,898	71,273			74,648
2 未払法人税等	131	11,229			11,024
3 前受金	6,927	7,678			7,167
4 その他	18,123	20,341			19,403
流動負債合計	193,080	110,523	82,557	42.8	112,245
<b>固定負債</b>					
1 預り保証金	56,725	50,100			51,125
固定負債合計	56,725	50,100	6,625	11.7	51,125
負債合計	249,805	160,623	89,182	35.7	163,370
<b>(資本の部)</b>					
<b>資本金</b>					
資本金	131,170				
資本剰余金	95,065				
利益剰余金	109,072				
資本合計	335,308				
負債、資本合計	585,114				
<b>(純資産の部)</b>					
<b>株主資本</b>					
1 資本金		131,589			131,589
2 資本剰余金		95,484			95,484
3 利益剰余金		58,173			106,708
株主資本合計		285,247			333,782
純資産合計		285,247			333,782
負債、純資産合計		445,870			497,152

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位: 千円、%)

科 目	前年同四半期 (平成18年12月 期第3四半期末)	当四半期 (平成19年12月 期第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年12月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	657,189	575,649	81,539	12.4	921,633
売上原価	374,188	327,834	46,353	12.4	527,143
売上総利益	283,000	247,814	35,185	12.4	394,490
販売費及び一般管理費	268,005	269,740	1,735	0.6	382,402
営業利益	14,995	21,925	36,921	246.2	12,087
営業外収益	702	588	113	16.2	906
経常利益	15,697	21,337	37,034	235.9	12,993
特別損失	165				165
税金等調整前四半期 (当期)純利益	16,599	21,337	37,936	228.5	12,828
法人税、住民税及び事業 税	3,050	16,161	13,111	429.9	13,664
法人税等調整額	288	8,538	8,250	2864.4	14,539
四半期(当期)純利益	13,261	46,036	59,298	447.1	13,702

## (3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前年同四半期 (平成18年12月 第3四半期)	当四半期 (平成19年12月 第3四半期)	(参考) 平成18年12月期
区 分	金 額	金 額	金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 税金等調整前(当期)純利益または税金 等調整前純損失( )	16	21	12
2 減価償却費	4	3	5
3 貸倒引当金の増減額	1	7	15
4 受取利息	0	0	0
5 有形固定資産除却損	0		0
6 売上債権の増減額	49	70	23
7 たな卸資産の増減額	48	31	12
8 その他流動資産の増減額	6	5	1
9 仕入債務の増減額	65	3	26
10 その他流動負債の増減額	1	0	0
11 未払消費税等の増減額	5	2	2
12 預り保証金の増減額	1	1	6
13 その他の営業支出	0	0	0
小 計	24	16	39
15 利息の受取額	0	0	0
16 法人税等の支払額	16	16	18
営業活動によるキャッシュ・フロー	41	0	58
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 ソフトウェアの取得による支出	3		3
2 短期貸付金の回収による収入	6	3	6
3 長期前払費用の取得による支出	0		0
投資活動によるキャッシュ・フロー	2	3	2
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 新株の発行による収入	0		1
2 配当金の支払額	2	2	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	1	2	0
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>			
現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	39	0	56
現金及び現金同等物の期首残高	244	188	244
現金及び現金同等物の期末残高	204	188	188



(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期(平成18年12月期第3四半期)

(単位:百万円)

	住宅FC事業	UIデジタル事業	資材販売事業	計	消去又は全社	連結
売上高	190	15	460	666	9	657
営業費用	141	19	421	582	59	642
営業利益	49	3	39	84	69	14

当四半期(平成19年12月期第3四半期)

(単位:百万円)

	住宅FC事業	UIデジタル事業	資材販売事業	計	消去又は全社	連結
売上高	181	30	377	590	14	575
営業費用	136	28	383	547	49	597
営業利益	45	2	5	42	64	21

(参考)前期(平成18年12月期)

(単位:百万円)

	住宅FC事業	UIデジタル事業	資材販売事業	計	消去又は全社	連結
売上高	261	24	650	935	14	921
営業費用	195	28	605	829	80	909
営業利益	65	4	44	106	94	12